

水道事業会計決算

(1) 水道事業会計決算額

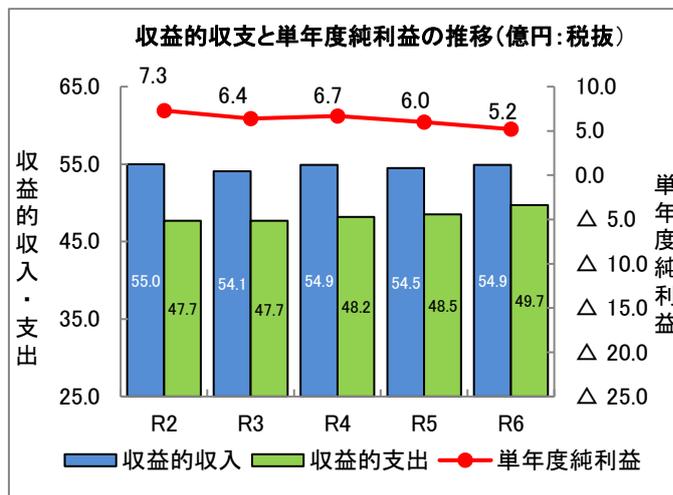
| | 収入決算額 | | 支出決算額 | | 差引額 | (単位: 億円) |
|-------|-------|---|-------|---|-------|----------|
| 収益的収支 | 54.9 | - | 49.7 | = | 5.2 | 【税抜】 |
| 資本的収支 | 16.4 | - | 28.6 | = | △12.2 | 【税込】 |

(2) 収益的収支の状況

令和6年度の収益的収支の総収益は54.9億円で前年度に比べ0.4億円の増加となりました。これは、給水管の引込み時に納付する分担金や長期前受金戻入が減少したものの、給水収益が増加したことなどによるものです。

また、総費用は49.7億円で前年度に比べ1.2億円の増加となりました。これは、原水及び浄水費、配水及び給水費、減価償却費が増加したことなどによるものです。

この結果、当年度純利益5.2億円の黒字決算となりました。

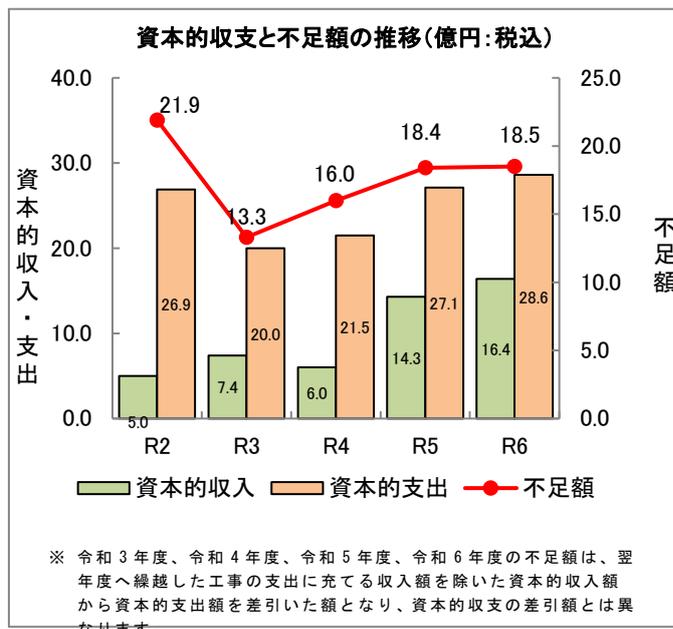


(3) 資本的収支の状況

令和6年度の資本的収支の収入は令和7年度へ繰り越される支出の財源に充当する額6.3億円を含め16.4億円で前年度に比べ2.1億円の増加となりました。これは、他会計負担金が減少したものの、工事負担金、企業債が増加したことなどによるものです。

また、支出は28.6億円で1.5億円の増加となりました。これは、受託設備改良費、企業債償還金、補助金等返還金が減少したものの、拡張事業費、設備改良費が増加したことなどによるものです。

この結果、令和6年度の資本的収入から6.3億円を除いた額から資本的支出を差引いた資本的収支不足額18.5億円は、施設などを更新するために蓄えた損益勘定留保資金等で補てんしました。



(4) 企業債残高の状況

令和6年度は企業債5.3億円を借入れ、4.3億円を償還したことにより、企業債残高は35.2億円となりました。

償還額に対して借入額が多かったことから、企業債残高は前年度より増加しています。

